

ごみってなんだろう？

～「すてる」の先を体感する5日間～

使い終えたと思ったモノも、視点を変えたり、
手の加え方を変えることにより、また新しい役割を持つかもしれません。
モノの「その後」には私たちが思う以上の可能性が眠っています。



展示やワークショップを通して「ごみ」や再生素材に触れながら、
これからのリサイクルや資源循環のあり方を考えます。
見る、触れる、つくる。「すてる」の先を、子どもから大人まで一緒に体感し考える5日間です。



大学生や若手クリエイターによる
ポップアップストア
も準備しています！

体験展示

出入自由

「すてる」先には何があるのだろう？
廃材が再生素材へと変わるプロセスや、
そこから生まれた作品・プロダクトを紹介します。
Produce by 京都芸術大学 学生有志

みんなの想いをことばで紡ぐ



想いのボタンが つながる展示

みなさんのことばを、ひとつの表現へ。
想いがつながり、会期中に少しずつ
育っていく参加型展示です。

Produce by ものがたちデザイナーReeya

触れて、作って、考える



ワークショップ

10/17(土)、18(日)

参加無料

廃アクリル板などの再生素材を使って、
オリジナルストラップづくりを楽しみます。

Produce by 龍谷大学心理学部 しげの研究室 (LoopUp)

先着順/事前予約オススメ！



詳細やワークショップのご予約は
特設サイトからご確認ください

参加無料／出入自由

10/18(日)は15:00まで

2026. 10/14 wed — 18 sun
Circular Kameoka Lab 2F 10:00-16:00

主催 | 株式会社浜田 協力 | 亀岡市 (めぐるひろばプロジェクト連動企画) 企画 | 龍谷大学心理学部しげの研究室 (LoopUp) 京都芸術大学 学生有志

株式会社浜田は、1969年の創業以来50年以上にわたり環境課題に向き合ってきた、産業廃棄物処理・資源循環の専門企業です。金属・産業廃棄物のリサイクルに加え、太陽光パネルのリユース・リサイクルや高度リサイクル技術の開発、資源循環の伴走支援などを通じて、サーキュラーエコノミーの実現を目指しています。



私たちが何気なく「ごみ」と呼んでいるものは、
捨てたあととはどこに行くのでしょうか。
燃やす？ 埋め立てる？ それだけではありません。